

「(仮称) 子ども発達支援計画行動計画2024～2026」策定のためのアンケート・ヒアリング結果及び「(仮称) 子ども発達支援計画行動計画2024～2026」(素案)の概要について

1 アンケート・ヒアリング結果について

(1) アンケート調査対象者

調査名		対象者
保護者調査		障害者手帳所持・受給者証所持・子ども発達センター親子通園・グループ指導利用児童*の保護者
子どもへの調査		中学生以上の障害者手帳所持・受給者証所持児童*
関係機関	管理者調査	市内の保育園・幼稚園・認定こども園と公立小中学校の管理者
	従事者調査	市内の保育園・幼稚園・認定こども園と公立小中学校の従事者
事業所調査		児童発達支援/居宅訪問型児童発達支援/放課後等デイサービス/障害児相談支援事業所の管理者

※同一世帯に該当する児童が複数いる場合(例:兄弟姉妹で障害者手帳、受給者証を所持している)は、最も年齢の高い児童のみ

(2) アンケート調査方法・回収状況

調査名		配布方法	回答方法	発送数	郵送回収数	WEB回収数	回収数	回収率	回答期間
保護者調査		郵送	郵送・WEB	1,859件	363件	635件	998件	53.7%	2023年 7月7日 ～21日
子どもへの調査				674件	82件	180件	262件	38.9%	
関係機関	管理者調査	郵送	郵送・WEB	181件	38件	55件	93件	51.4%	
	従事者調査	郵送	WEB	181件	-	80件	80件	44.2%	
事業所調査		郵送	WEB	78件	-	36件	36件	46.2%	

(3) ヒアリング

実施日	対象団体	実施日	対象団体
8月22日	町田市福祉懇談会代表	9月5日	東京都立町田の丘学園(生徒・教員)
8月23日	町田市立中学校長会代表	9月8日	町田市私立幼稚園協会
8月23日	町田市民病院	10月4日	町田市医師会
8月31日	町田市立小学校長会代表	書面実施	町田市法人立保育園協会

(4) 主な調査結果

- ① 子ども自身が思う幸福度は72.2%だった。「(「そう思う」31.7%と「どちらかといえばそう思う」40.5%の合計)【子どもへの調査】
- ② 子どもの意見を尊重しているかについて、「常に子どもの意見を尊重している」は18.9%で、「内容によって子どもの意見を尊重している」が73.6%、「あまり尊重していない」が2.6%だった。【保護者調査】
- ③ 子どもの積極的な社会参加に大切なことについて、「どの子どもにも分け隔てなく接してくれる大人の存在」が65.1%で最も高かった。【保護者調査】
- ④ 施設内に「気になる子」の有無について、「いる」が96.8%、「現在はいないが、過去3年間に在籍していたことがある」「現在も、過去3年間も在籍していない」がそれぞれ1.1%であった。【管理者調査】
- ⑤ 「どこの部署に相談に行っても市側で情報の共有を行ってくれる、体制整備を希望する」という意見があがった。【ヒアリング調査】

2 (仮称) 町田市子ども発達支援計画行動計画2024～2026素案について

次期行動計画における「基本理念」は、「新・町田市子どもマスタープラン」における基本理念「子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創り出す」とし、2023年12月に制定予定の「(仮称) 町田市子どもにやさしいまち条例」を意識しながら計画を策定します。

■ 「子ども発達支援計画行動計画2024～2026素案」の各基本目標における取組

基本目標	現状・課題	取組の方針	主な取組
I 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に支援が必要な子どもや医療的ケアが必要な子どもの数は増加傾向となっています。 ・支援・サービスに関する情報発信や周知方法に課題があります。 	子ども一人ひとりの発達段階・生活状況に応じた支援・サービスの提供体制を充実・強化します。	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児スポーツ教室 ・地域参加支援事業 ・子ども発達センターの保育所等訪問支援事業 ・事業所ガイドブック ・特別支援教育巡回相談員による支援
II 子どもが安らいでいる家庭があり、家庭が地域とつながっている	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に支援が必要な子どもとその家族は多様な機関からも相談につながっています。教育・保育施設は様々な専門機関と連携して対応することが不可欠です。 	情報共有や関係機関の連携・発達支援・継続した相談対応が切れ目なく実施され、安心して相談することができる体制を充実・強化します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て相談センター事業 ・障害児相談支援事業者懇談会 ・療育機関懇談会
III 子どもが地域の中で大切にされている	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス流行による子どもの外出機会の減少が顕著です。 ・子どもの積極的な社会参加には、地域の中でも「分け隔てなく接してくれる大人」が特に不可欠です。 	障がいの有無にかかわらず、地域でともに過ごし、学び、成長できる地域社会の実現のために、障がい等に関する理解促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公開講座 ・高校生療育体験ボランティア事業